

# 豊中市 上下水道耐震化計画

豊中市上下水道局  
策定 令和7年(2025年)1月

## 1 目標

豊中市では、災害に強く持続可能な上下水道の構築に向け、対策が必要な急所施設および重要施設に接続する上下水道管路について、今後、概ね20年間で耐震化を完了することをめざす。

このうち、令和7年度(2025年度)から令和11年度(2029年度)の5年間においては、下水道施設は代替不能な急所施設を最優先に耐震化するとともに下水道管路の耐震診断を進め、水道施設は送水管の耐震化や重要施設8箇所への配水管について耐震性を確保する。

なお、本計画は重要施設の変更など、必要に応じて計画の内容を随時見直す。

## 2 計画期間

令和7年(2025年)4月から令和12年(2030年)3月まで

## 3 下水道処理区域内における避難所等の重要施設の設定(上下水道共通)

区分	下水道処理区域内における避難所等の重要施設(上下水共通)	
	施設数	施設名称
対象全施設数	8	豊中市役所、豊中市上下水道局庁舎、豊中市消防局(北消防署・南消防署・新千里消防署)、大阪大学、服部緑地公園、野田中央公園
上下水道管路等の耐震性能確保済み <sup>1</sup> の施設数(令和5年度末時点)	0	
上下水道管路等の耐震性能確保の目標施設数 <sup>2</sup> (令和11年度末迄)	0	

<sup>1</sup> 重要施設に接続する水道管路(配水本管・配水支管、配水池～避難所等の重要施設)と下水道管路(避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路及びその途中にあるポンプ場)の双方の耐震機能を確保することをいう。

<sup>2</sup> 耐震性能確保済みの施設数(令和5年度末時点)を含め、令和11年度末迄に目標とする施設数をいう。

4 水道システムの急所施設の耐震化(上水道事業)

(1) 取水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m <sup>3</sup> /日)	耐震化率(%) <sup>3</sup>
対象全取水施設	1	19,000	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	0	0	0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	0	0

(2) 導水施設(導水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全導水管(令和5年度末時点)	319	214	3,062	3,595	8.9	14.8
耐震化目標(令和11年度末迄)	319	214	3,062	3,595	8.9	14.8

(3) 浄水施設

	箇所数(箇所)	施設能力(m <sup>3</sup> /日)	耐震化率(%) <sup>4</sup>
対象全浄水施設	1	28,000	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	0	0	0
耐震化目標(令和11年度末迄)	0	0	0

(4) 送水施設(送水管)

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
対象全送水管(令和5年度末時点)	4,193	2,149	1,380	7,722	54.3	82.1
耐震化目標(令和11年度末迄)	4,458	1,884	1,380	7,722	57.7	82.1

(5) 配水施設(配水池(配水塔含む)及び浄水池)

	箇所数(箇所)	有効容量(m <sup>3</sup> )	耐震化率(%) <sup>5</sup>
対象全配水池	6	108,859	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	6	108,859	100
耐震化目標(令和11年度末迄)	6	108,859	100

<sup>3</sup> 取水施設の耐震化率=耐震対策の施された取水施設能力÷対象全取水施設能力

<sup>4</sup> 浄水施設の耐震化率=耐震対策の施された浄水施設能力÷対象全浄水施設能力

<sup>5</sup> 配水池の耐震化率=耐震対策の施された配水池有効容量÷対象全配水池有効容量

(6)ポンプ所(取水、導水、送水及び配水ポンプ所)

	箇所数(箇所)	施設能力(m <sup>3</sup> /日)	耐震化率(%) <sup>6</sup>
対象全ポンプ所	5	99,324	
耐震対策実施済み(令和5年度末時点)	1	11,220	11.3
耐震化目標(令和11年度末迄)	1	11,220	11.3

5 避難所等の重要施設<sup>7</sup>に接続する水道管路の耐震化(上水道事業)

配水池～避難所等の重要施設までの水道管路(配水本管+配水支管)

(1)下水道処理区域内における避難所等の重要施設

	管路延長(m)				耐震化指標	
	耐震管 延長	耐震適合管 延長 (耐震管除く)	耐震適合管 以外	計	耐震管率 (%)	耐震適合率 (%)
避難所等の重要な施設に接続する配水管(令和5年度末時点)	15,106	1,612	1,929	18,647	81.0	89.7
配水本管	11,439	1,580	1,766	14,785	77.4	88.1
配水支管	3,667	32	163	3,862	95.0	95.8
耐震化目標(令和11年度末迄)	17,067	1,580	0	18,647	91.5	100

<sup>6</sup> ポンプ所の耐震化率=耐震対策の施されたポンプ所能力÷対象全ポンプ所能力

<sup>7</sup> 下水道処理区域外における避難所等の重要施設も含む

6 下水道システムの急所施設<sup>8</sup>の耐震化

(1) 下水処理場(揚水、沈殿、消毒機能に係る施設に限る)

	揚水施設		沈殿施設		消毒施設		揚水、沈殿、消毒機能に係る全ての施設	
	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	上記施設を有する処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)	処理場の箇所数(箇所)	耐震化率(%)
対象全箇所数	1		1		1		1	
耐震性能確保済みの箇所数 (令和5年度末時点)	1	100	1	100	1	100	1	100
耐震性能確保の目標箇所数 (令和11年度末迄)	1	100	1	100	1	100	1	100

(2) 下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路

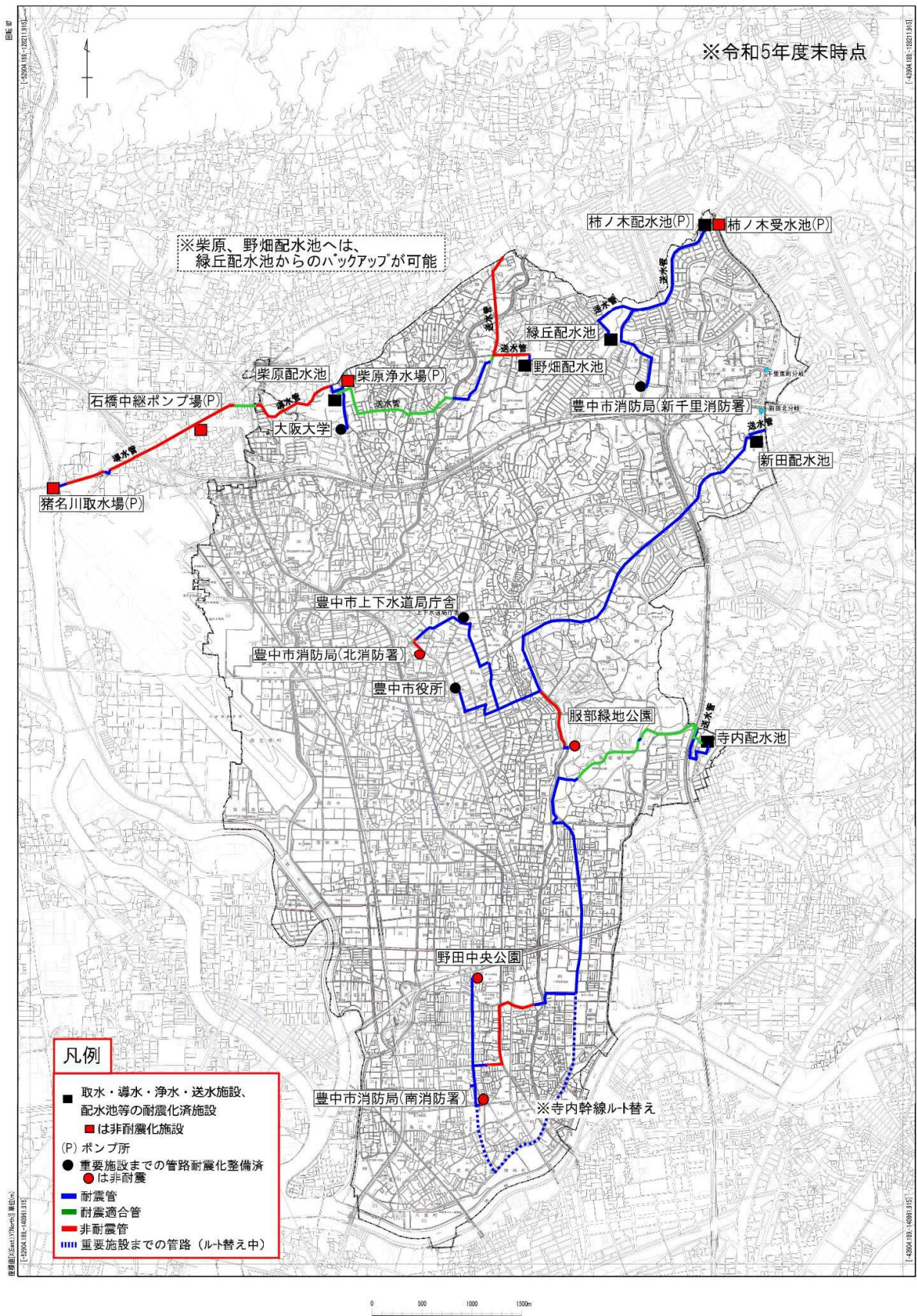
	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	0.02	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	0	0
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)	0.02	100

7 避難所等の重要施設に接続する下水道管路等の耐震化

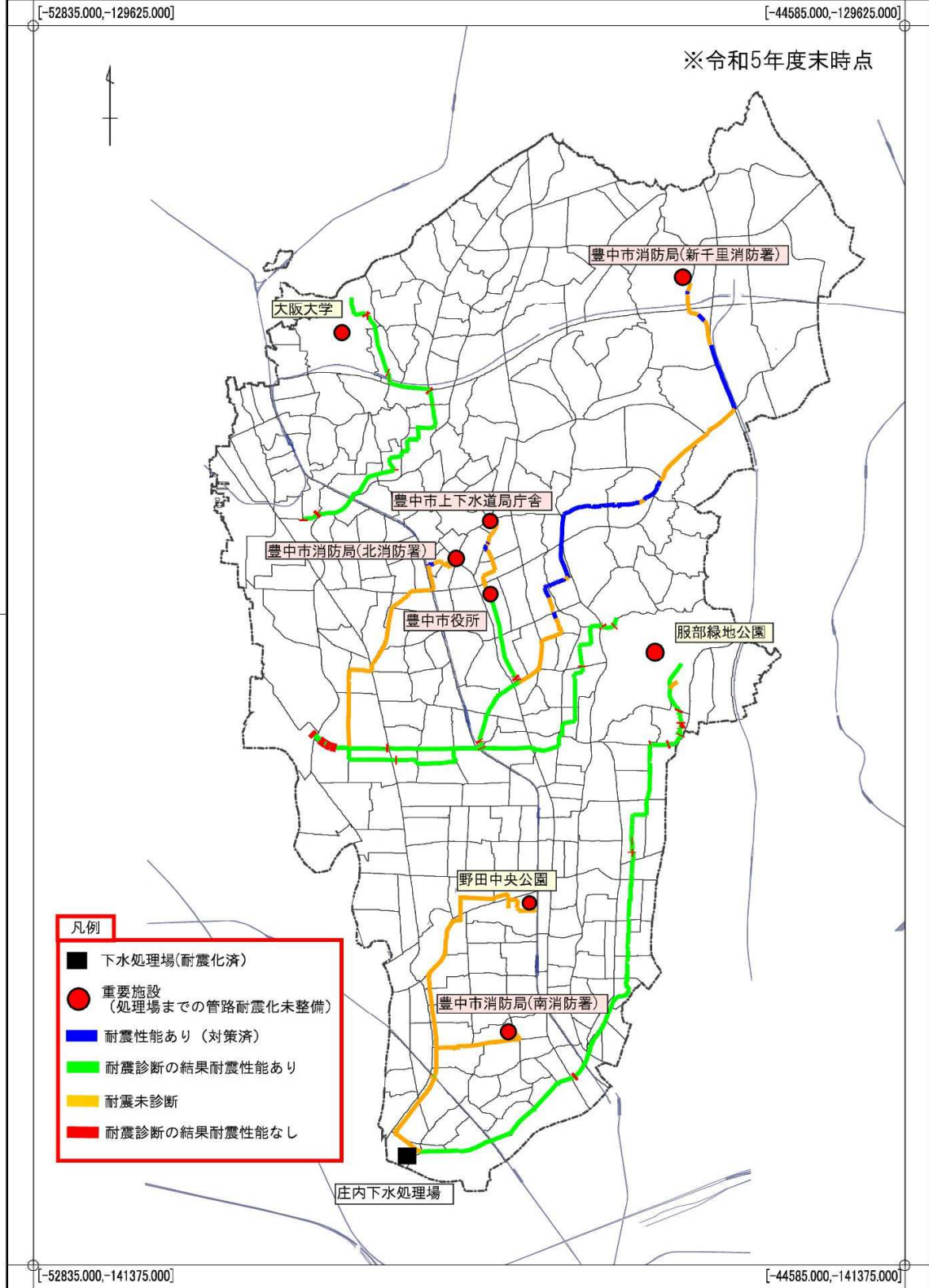
(1) 避難所等の重要施設～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路

	管路延長(km)	耐震化率(%)
対象全延長	31.47	
耐震性能確保済みの延長(令和5年度末時点)	20.49	65.1
耐震性能確保の目標延長(令和11年度末迄)	21.89	69.6

<sup>8</sup> 下水処理場並びに下水処理場～下水処理場直前の最終合流地点までの下水道管路及びポンプ場をいう。なお、流域下水道の下水道管路及びポンプ場については、最終合流地点以前も含めて急所施設とする。



(図-1) 水道事業に関する急所施設・重要施設への配水管 概要図



(図-2) 下水道事業に関する急所施設・重要施設からの下水道管路 概要図